

# 平成22年1月 東京地区百貨店売上高概況

平成22年2月18日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,356億円余
2. 前年同月比	-7.4% (店舗数調整後/23か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-5.4%(90.3%) : 非店頭-22.4%(9.7%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成21年12月対比±0店)
5. 総店舗面積	946,658㎡ (前年同月比:-3.9%)
6. 総従業員数	20,655人 (前年同月比:+9.4%)
7. 3か月移動平均値	6-8月 -11.9%、7-9月 -11.6%、8-10月 -11.4%、 9-11月 -11.9%、10-12月 -9.9%、11-1月 -8.2%

[参考] 平成21年1月の売上高増減率は-9.6% (店舗数調整後)

### 【1月売上の特徴】

- (1) 東京地区では17か月ぶりに美術・宝飾・貴金属の売上が前年同月比プラスとなった。都内各店でジュエリーや高級時計などを中心に富裕層消費の回復傾向が見られた。
- (2) 初商は入店客数・売上高ともにほぼ前年並みに推移した。特徴的な動きとしては、食料品・家庭用品等の実用的な福袋、旅行・食事等の体験型福袋などに人気が集まった。
- (3) 衣料品は下旬の気温上昇で、一部春物プロパー商材に動きが見られたものの、クリアランスセール冬物衣料については逆に低調な結果となった。
- (4) 巣ごもり消費を反映して家庭用品は比較的堅調に推移した。具体的には和洋食器、調理器具などに活発な動きが見られた。
- (5) 2月14日が日曜日となり苦戦が懸念されたバレンタイン商戦であるが、都内各店から寄せられた速報ベースでは前年を少し上回る結果が出ており、中には二桁増を記録した店舗も複数ある。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比)  
①増加した: 2店、②変化なし: 7店、③減少した: 11店、④不明: 2店
- (3) 1月歳時記 (初売り、冬的全館セール、成人の日) の売上 (同上)  
①増加した: 0店、②変化なし: 8店、③減少した: 11店、④不明: 3店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見ると傾向値)  
①増加する: 0店、②変化なし: 10店、③減少する: 10店、④不明: 2店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2010年01月

※店舗数調整後 ( )が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>135,629,385</b>	<b>100.0</b>	<b>-7.4 ( -8.4)</b>
紳士服・洋品	12,463,593	9.2	-9.5 ( -10.1)
婦人服・洋品	36,013,892	26.6	-12.1 ( -12.9)
子供服・洋品	2,774,697	2.0	-10.9 ( -11.1)
その他衣料品	3,460,886	2.6	-3.9 ( -5.2)
<b>衣 料 品</b>	<b>54,713,068</b>	<b>40.3</b>	<b>-11.0 ( -11.8)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>18,739,114</b>	<b>13.8</b>	<b>-3.7 ( -5.9)</b>
化粧品	6,082,245	4.5	-4.0 ( -4.4)
美術・宝飾・貴金属	5,568,793	4.1	1.0 ( -0.8)
その他雑貨	7,055,683	5.2	-5.0 ( -5.4)
<b>雑 貨</b>	<b>18,706,721</b>	<b>13.8</b>	<b>-2.9 ( -3.7)</b>
家 具	2,099,373	1.5	-0.8 ( -2.2)
家 電	533,924	0.4	-21.6 ( -21.6)
その他家庭用品	4,393,994	3.2	-8.2 ( -9.2)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>7,027,291</b>	<b>5.2</b>	<b>-7.3 ( -8.3)</b>
生 鮮 食 品	4,356,304	3.2	-5.4 ( -6.3)
菓 子	7,665,466	5.7	-5.2 ( -6.4)
惣 菜	6,281,069	4.6	-7.1 ( -8.1)
その他食料品	9,835,115	7.3	-2.2 ( -3.1)
<b>食 料 品</b>	<b>28,137,954</b>	<b>20.7</b>	<b>-4.7 ( -5.7)</b>
食 堂 喫 茶	3,433,205	2.5	-3.8 ( -5.2)
サ ー ビ ス	2,084,469	1.5	2.9 ( 2.9)
<b>そ の 他</b>	<b>2,787,563</b>	<b>2.1</b>	<b>-21.2 ( -21.7)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)  
※

商 品 券	5,708,516 千円	156.4 ( 149.5)
従 業 員 数	20,655 人	9.4
店 舗 面 積	946,658 m <sup>2</sup>	-3.9

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

## II. 商品別の動き

主要5品目は、16か月連続で全品目がマイナスとなった。しかし、5品目の中で身のまわり品、雑貨、食料品が先月より改善する動きとなり、衣料品、家庭用品が落とす結果となった。また、子供服・洋品、その他衣料品、化粧品、家具、その他食料品が先月より改善した。美術・宝飾・貴金属が1.0%と17か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	-7.4	—	23か月連続マイナス
紳士服・洋品	-9.5	-0.9	22か月連続マイナス
婦人服・洋品	-12.1	-3.4	18か月連続マイナス
子供服・洋品	-10.9	-0.2	17か月連続マイナス
その他衣料品	-3.9	-0.1	21か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	-11.0	-4.6	18か月連続マイナス
<b>身のまわり品</b>	-3.7	-0.5	22か月連続マイナス
化粧品	-4.0	-0.2	14か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	1.0	0.0	17か月ぶりプラス*
その他雑貨	-5.0	-0.3	20か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	-2.9	-0.4	21か月連続マイナス
家具	-0.8	0.0	22か月連続マイナス
家電	-21.6	-0.1	6か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-8.2	-0.3	2か月ぶりマイナス
<b>家庭用品</b>	-7.3	-0.4	20か月連続マイナス
生鮮食品	-5.4	-0.2	7か月連続マイナス*
菓子	-5.2	-0.3	12か月連続マイナス*
惣菜	-7.1	-0.3	22か月連続マイナス*
その他食料品	-2.2	-0.2	4か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	-4.7	-0.9	16か月連続マイナス
<b>食堂喫茶</b>	-3.8	-0.1	15か月連続マイナス
<b>サービス</b>	2.9	0.0	15か月連続プラス
<b>その他</b>	-21.2	-0.5	2か月ぶりマイナス
<b>商品券</b>	156.4	2.4	6か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>